

チュニジアの行政官らが生産性向上のための ノウハウを学びに愛知県を訪れます！

チュニジアより中小企業振興を担う行政官ら9名がものづくりの中心地でもある愛知県を訪れ、講義・現地踏査を交えながら製造業における生産性向上のノウハウや日本のものづくり精神を学びます。

2010年の「アラブの春」が始まった国、チュニジア。この変革を求めた動きの原因となったのは、格差に対する不満と若年層の高い失業率であったと言われています。

他のアラブ諸国とは異なり、天然資源に乏しいチュニジアが経済的な競争力をつけ、持続可能な経済発展を実現するためには、国内産業の産業振興を担う人材を育成していくことが極めて重要です。そのため、JICAでも職業訓練や高等教育分野で支援を続けています。

今回は中小企業の品質・生産性向上を担う行政官たちが来名。世界に広がる日本のカイゼン手法の一つであるTPM活動（全員参加の生産保全）に力を入れる株式会社半谷製作所を訪問し、TPM活動を通じた品質・生産性向上や人材育成方法を学びます。

株式会社半谷製作所の大府工場での講義・視察を下記のとおり予定していますので、この機会に是非、取材・報道をご検討いただければと思います。



※昨年度の工場見学の様子

<研修概要>

研修コース名：チュニジア 品質・生産性向上プロジェクト（フェーズ II）

（株）半谷製作所での研修：7月24日（水）14：00～16：00

（全体研修期間：2019年7月16日～2019年7月26日）

※取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

<参加者>

チュニジア 産業・商業省 国家品質事業管理ユニット職員、技術産業センター職員 等
計9名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳（フランス語-日本語）を行います。

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

JICA 東京 産業開発・公共政策課 門脇 めぐみ

TEL：03-3485-7630 e-mail：Kadowaki.Megumi@jica.go.jp